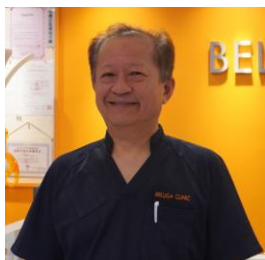


ブルーガクリニック(東京都板橋区)



施設概要

東京都板橋区のブルーガクリニック(乳腺外科)は、都内トップクラスの電子処方箋発行率です。更に、電子処方箋サービス開始前からマイナ保険証を持参するよう患者さんに呼びかけていたため、蓄積された患者さんの過去の薬剤情報を治療に大いに活用できています。

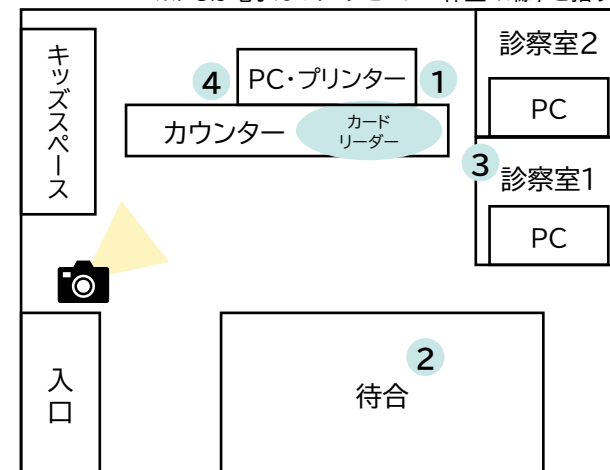


ブルーガクリニック
院長 富永さん

- ・今では発行している処方箋の9割が電子処方箋です。
- ・化学療法は副作用が大きい薬を扱うことが多く、抗がん剤はもちろん、患者さんが服用している他の薬剤にも気を遣う必要もあるため、がんを治療する医療機関は、電子処方箋のメリットを特に享受しやすいと感じています。電子処方箋を導入したことで、日々の業務内容が変わったということはありません。
- ・当院では、マイナ保険証で電子処方箋を選択する患者さんへのメリットや重要性を、医師から患者さんに伝えるようにしています。例えば、電子処方箋に対応している医療機関では、重複投薬等チェックを電子的に行うことができ、医療の安全性が高まることや、マイナ保険証を利用して同意すれば、医師が過去の診療情報や薬剤情報を確認できるため、患者さんがより安全に医療を受けられることなどを説明しています。患者さんの健康に関わる話は、医師から伝えた方が患者さんに響くと考えています。
- ・患者さんには、受診する医療機関を選ぶ際は、主観に基づく口コミではなく、患者さんの状態を正しく確認しようとしている医療機関を選ぶことが患者さんの健康を守れるとも伝えています。
- ・電子処方箋を導入した医療機関・薬局を受診することで、直近の処方・調剤情報(100日間)を含め、マイナポータルで過去5年間分の薬剤情報を、ご自身で後から確認できる点もメリットの1つとして伝えています。
- ・当院が電子処方箋を導入する際、同じビルの1階に入っている薬局で調剤を希望する患者さんが多いため、電子処方箋を導入してほしいと依頼しました。今では、当該薬局なら電子処方箋を間違いなく調剤してくれると安心してしています。
- ・陸上自衛隊の駐屯地から遠くないところにクリニックがあるため、患者さんの中には自衛官の方もいらっしゃいます。自衛官の方の処方情報も早く電子処方箋管理サービスに登録できるようになることを期待しています。

動線イメージ図

※PCは電子カルテ・レセコン一体型の端末を指す。



ブルーガクリニック

※ブルーガクリニックでお使いの株式会社ビー・エム・エルの電子カルテ(レセコン一体型)の場合です。各医療機関でお使いのシステムとは操作方法等異なるため、各システム事業者へご確認ください。

※下線部が、電子処方箋の導入により業務を変更した箇所、得られるメリットです。

患者

事前予約

来院、マイナ受付を実施

問診票に記入

事前予約

①受付

i) 予約制のため、電話予約時にマイナ保険証を持ってくるように患者さんに伝える。

ii) 初診の患者さんには、受付時にスタッフが顔認証付きカードリーダーの側で使い方を説明するとともに、ブルーガクリニックでは原則電子処方箋を発行していることを伝えている。

※ほとんどの患者さんが、2～3回操作すれば覚えてくれる。



②問診

i) 待合室で問診票に記入してもらう。

医療機関側

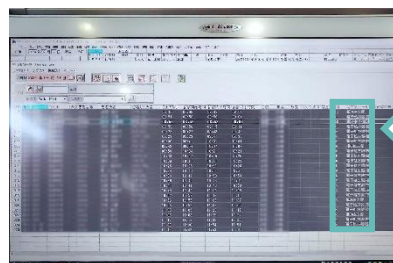
※下線部が、電子処方箋の導入により業務を変更した箇所、得られるメリットです。

患者

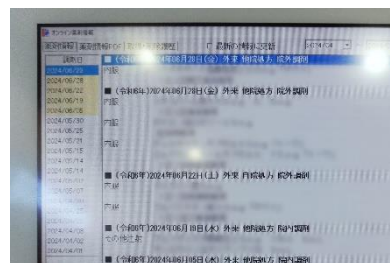
診察を受ける

③診察(★)

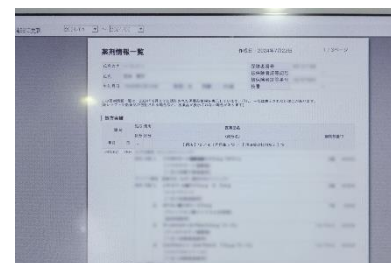
- i) 患者さんが顔認証付きカードリーダーで選択した処方箋の発行形態が、電子カルテに反映される。
- ii) 過去の薬剤情報等を確認し、患者さんの病歴や健康状態を把握する。まずは簡易画面で確認し、必要に応じて詳細情報を確認する。
※紙のお薬手帳の場合シールの貼り忘れ等があるため必ずしも正しい情報と言えないと考えており、薬剤情報も併せて確認。
- iii) 処方情報を入力して画面を閉じる際に、重複投薬や併用禁忌があれば表示される。確認し、処方内容を再検討した上で、電子処方箋を発行。
※HPKIカードは、都度4桁の認証キーを入力せずとも、電子処方箋を発行した際に医師の電子署名が付されるようにしている。
一度認証を行った後、HPKIカードを外すまでは認証が有効となる仕組みを利用。
- iv) 電子処方箋対応の薬局で調剤を受けるよう伝える。



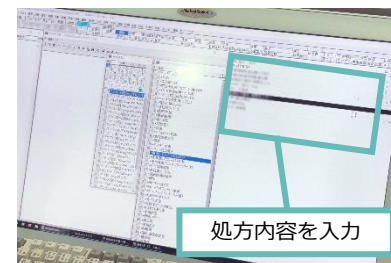
電子処方箋/紙処方箋が表示される



簡易的な薬剤情報の表示画面



詳細な薬剤情報の表示画面



通常どおり処方箋を入力して画面を閉じる際に重複投薬等チェックができる

★患者さんには、初診の際に、診察室で医師からマイナ保険証と電子処方箋のメリットを伝えている。

ブルーガクリニクで患者さんにお伝えしている、マイナ保険証と電子処方箋の患者さんのメリット

①マイナ保険証で受診することで患者さんの過去の薬剤情報等を医師が確認できるうに、電子処方箋を導入した医療機関ではシステム上で重複投薬や併用禁忌チェックができるので患者さんにとってより安全なこと

②処方された薬を、すぐにでも、後からでも患者さん自身がマイナポータルから確認できること

③他の疾患で他の医療機関を受診している診療情報が見れることで、医師が相互に確認して、よりよい治療になるよう気づいてくれること
(ブルーガクリニクでの具体事例)

乳がんの治療でアロマターゼ阻害薬を使用していた患者さんの薬剤情報を確認したところ、閉経後の骨粗鬆症を防止するためにラロキシフェンを整形外科から処方されていることが判明。これらの薬は、併用することで有害事象が増加と乳がん再発抑制効果を阻害する可能性が臨床試験により確認されていることを踏まえ、患者さんに、整形外科で骨粗鬆症薬を変えてもらうよう医師に言うように伝えることができた。

医療
機
関
側

ブルーガクリニック

※ブルーガクリニックでお使いの株式会社ビー・エム・エルのエレクトロカルテ(レセコン一体型)の場合です。各医療機関でお使いのシステムとは操作方法等異なるため、各システム事業者へご確認ください。

※下線部が、電子処方箋の導入により業務を変更した箇所、得られるメリットです。

患者

会計

④会計

完了

i)受付で、医療事務職員が
処方内容(控え)を印刷する。

ii)会計時に、改めて受付の医療
事務職員から、電子処方箋対応
の薬局で調剤を受けるように
伝える。

遠方から通院しており、電子
処方箋対応薬局がわからない
患者さんには、ブルーガ
クリニック近隣で電子処方箋
対応している、いくつかの薬局
をお伝えする。

医
療
機
関
側

